



第24-45号

2025年1月24日

国連グローバル・コンパクト(UNGC)への加入

～サステナビリティ経営を通じて、地域とともに企業成長を続けます～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：鈴木 滋）は、国連と民間企業、団体が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティイニシアチブ「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」に署名し、2025年1月21日(火)付で参加企業として登録されました。

当社グループでは、お客さまの「かけがえのない時間(とき)」と「ゆたかな暮らし」の実現に貢献する、というグループ経営理念を掲げ、お客さまの「暮らしやすさ」を徹底的に追求し、期待に応えていくことでグループ価値の最大化を目指しています。この実現に向けて、サステナビリティ経営の推進を念頭に置き、「安全・安心」「まちづくり・地域社会」「日々の暮らしと観光体験」「環境」「価値創造人財の育成」「ガバナンス」を重要課題として位置付け、小田急グループ人権方針も掲げながら各種戦略を進めています。

ただし、経営環境は日々刻々と変化するものであり、情報収集や共創の機会を積極的に得ていく必要性を考えていました。

UNGCに署名する企業団体は、「人権の保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」「腐敗の防止」に関わる10の原則に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもと、その実現を志向されています。今般の参加企業への登録により、企業姿勢を明確にするとともに、国連機関・政府・アカデミア・NGO等とのパートナーシップの機会を得ることで、サステナビリティ経営を一層推進してまいります。

WE SUPPORT



以上